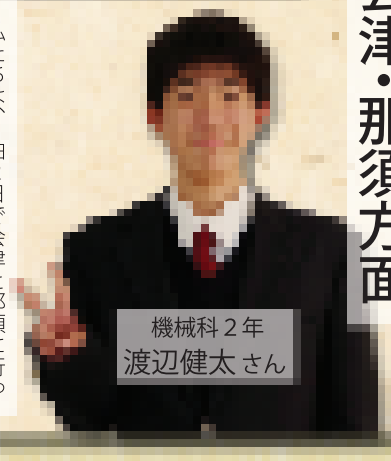
INFORMATION KAWAKO
インフォメーション川高

川高生の楽しいニュースをご紹介します。

2年生修学旅行 会津・那須方面



機械科2年
渡辺健太さん

普通科2年
伊藤にこさん

私たちは1泊2日の日程で会津・那須方面に修学旅行に行きました。あいにくの雨でしたが、初めて行く場所でとてもワクワクしていました。

1日目の会津方面では、野口英世記念館、鶴ヶ城に行きました。また、あかべえ土鈴や会津塗ペン立てへの絵付等の伝統工芸も体験し、会津の歴史や文化・伝統に触れることができる1日となりました。宿泊先の宿では、豪華でおいしい食事を楽しみ、広い部屋でリラックスして過ごせました。

2日目は、那須ハイランドパークに行く予定が雨天により変更になってしまい残念でしたが、とりっくあーとぴあという美術館で有名絵画とトリックアートの融合という興味深い作品を鑑賞して楽しむことができました。また、那須ガーデンアウトレットでもお土産を選んだり、自分の欲しいものを買ったりして充実した2日目となりました。

コロナウイルスの影響や天候などにより、本来の予定とは変わってしまった修学旅行でしたが、近場の魅力を知る事ができて良かったです。この修学旅行で友達との絆も深まったし、私の中でかけがえのない思い出になりました。

私たちは、1泊2日で会津と那須に行ってきました。本来は、3泊4日で関西地方を訪問する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、当初の予定通りにはいきませんでした。

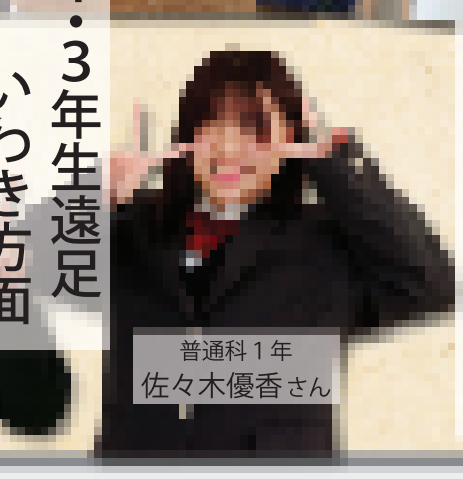
1日目は、野口英世記念館や鶴ヶ城に行きました。野口英世が生まれた家と野口英世が行ってきた数々の偉大な業績の記録を見てきました。鶴ヶ城では、幕末の会津藩の歴史や戊辰戦争の記録、私たちと同じくらいの歳の白虎隊について深く学びました。また、天守閣最上階からみた会津盆地の眺めはとてもきれいでした。

2日目は、とりっくあーとぴあ、那須ガーデンアウトレットに行ってきました。とりっくあーとぴあでは、目の錯覚を利用したアートがたくさんありました。アウトレットでは、友人と一緒に買い物や食事ができ楽しかったです。

1泊2日という短い修学旅行でしたが、友人と共に過ごし楽しい思い出ができました。

1・3年生遠足 いわき方面

機械科3年
廣野恭平さん



普通科1年
佐々木優香さん

10月23日にいわき方面へ遠足に行きました。まず最初に、東日本大震災・原子力災害伝承館に行き、災害時の写真や当時の生活で実際に使われていた思い出の品などを見ました。当時小学校2年生だった私は、恐怖に怯えていたことを今でも覚えています。あれから10年が経ちましたが、展示物や映像を見ながら震災のことを思い出しました。私の地元山木屋も避難区域となり、地元に残る人が少なくなっているので、私達が盛り上げたいと思いました。

次に、「アクアマリンふくしま」と「いわき・ら・ら・ミュウ」に行きました。アクアマリンではいろいろな魚を見て、ら・ら・ミュウに行きました。昼食で、貝焼と焼鳥を食べました。さらに、サザエ、牡蠣、ホタテ、アサリなど、新鮮な海の幸をお腹いっぱい食べたのが一番の思い出となりました。

私たち1年生は、10月23日に遠足でいわき方面へ行ってきました。

まず最初に向かったのは、東日本大震災・原子力災害伝承館です。10年前に起こった東日本大震災によって受けた被害の大きさを、当時の映像や展示などを見て改めて感じました。また、プロローグでは震災発生前・震災直後・復興の情景を約4分間ほど映写していて、震災と原子力災害を私事として意識し映像を見ることができました。

次にアクアマリンふくしまへ行きました。かなりの種類の生物を観ることができ、他にも展示に工夫があって、とても面白かったです。

最後に小名浜イオンモールへ行き、お昼ご飯を食べました。その後は、友人と写真を撮ったり、お土産を買ったりして過ごしました。

この遠足で、クラスメートとの仲が深まり、良い思い出になりました。

編集後記

強くあれ、川高生！

今年度はとにかくコロナ、コロナの年でした。年初めにはそのうち収まるだろうと誰もが予想していたのではないでしょうか？次第に感染者が増加し、3月中旬から5月下旬まで学校が休業になるなど、想像もつかない事態となりました。

川高生も大きな影響を受けました。特に最後の高校生活を迎える3年生はとても辛かったでしょう。インターハイの中止や感染防止策の徹底の上でのかえで祭、校内では常にマスクの着用…。残念な出来事や窮屈な学校生活で、とても悔しい思いをしたことと思います。

しかし今号の生徒たちの写真を見ていると、どの写真も笑顔、笑顔。生徒たちはこの厳しい環境の中、自分たちで学校生活の楽しさを見つけ出しているように感じました。

この1年間の苦労は決して無駄にはなりません。頑張れ川高生！

川俣高校調査広報委員会

委員長　菅野　泰弘
副委員長　久能　巧
広報委員　菅野　洋之
安部由香里
水口　優子
長澤　香里

進路だより

令和2年度
3学年進路先一覧（11月末現在）

今年度の3年生の進路もほぼ決定してきました。川高生の頑張りはすばらしいですね。1・2年生も早いうちから自分の進路を考えておきましょう！

進学

四年制大学　5名（延べ人数）
名古屋外国語大学（現代国際学部グローバルビジネス学科）・名古屋外国語大学（現代国際学部国際教養学科）・早稲田大学（スポーツ科学部）・東北学院大学（法学部法学科）・城西大学（経済学部経済学科）

専門学校　6名
国際アート＆デザイン大学校（ペット総合科トリマーコース）・福島介護福祉専門学校（介護福祉学科）・仙台ウェディング＆ブライダル専門学校（ウェディングプランナー科ホテルウェディングコース）・国際ビジネス公務員大学校（ホテル観光科ホテルブライダルコース）・郡山ヘアメイクカレッジ（通信課程美容科）・東京ＩＴ会計専門学校仙台校（ビジネス学科鉄道交通コース）

短期大学　4名
桜の聖母短期大学（生活科学科食物栄養専攻）・桜の聖母短期大学（生活科学科こども専攻こども保育コース）・福島学院大学短期大学部（情報ビジネス科）・福島学院大学短期大学部（保育学科）

就職

県内就職【50音順】13名
アサヒ通信㈱川俣工場／㈱東館／㈲エイ・エス・エイチ／川俣精機㈱／グリム・エナジー㈱／清水食品㈱福島工場／㈲創代工業／NITTOKU㈱／㈱ハヤシ製作所／福島サンケン㈱／福島製鋼㈱／不二家飲料果実㈱／㈱渡工テクノサイト

県外就職【50音順】1名
山崎製パン㈱（埼玉県）

今年の進路活動を振り返って

進路指導主事
玉野憲治先生

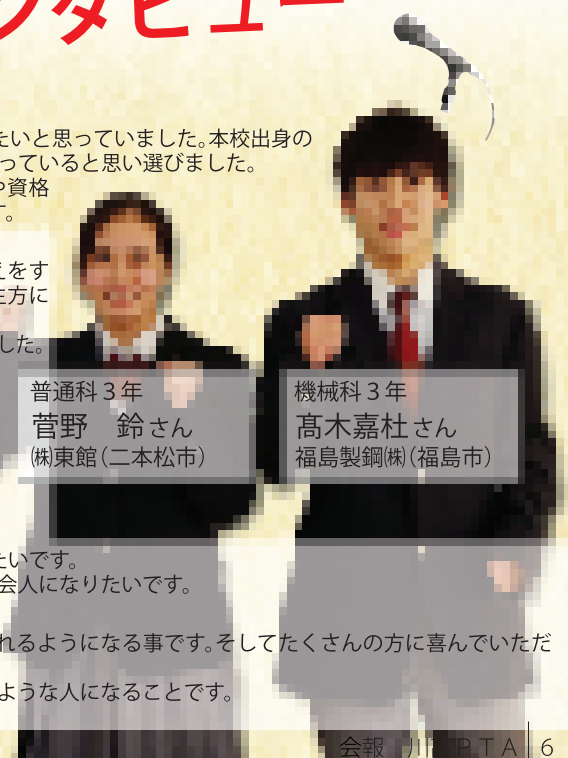
今年の始まりはコロナでした。今も終わってはいませんが、年度当初はこれから先、何がどうなっていくんだろうか、と不安しかありませんでした。そんな中、準備をしました。入学試験や就職試験が無くなるかもしれない。でも、いつ行われてもいいように準備をすることが大事だと思いました。3年生のみなさんはしっかり準備をしていました。

就職に関しては、スケジュールが変更になってバタバタしましたし、いくつかの企業からは「今年の採用はない」との連絡をもらいました。全国的に昨年よりも求人は減りました。改めて自分の進路を考え直さなければいけない生徒もいました。しかし、それでも3年生は頑張りました。地元の企業もなんとか求人を出してくださったおかげもあり、全員が内定をいただきました。

進学に関しては、今年から名称が変わった総合型選抜（旧ＡＯ入試）や指定校推薦や公募推薦で多くの生徒が合格しました。日頃の勉強だけでなく、小論文の勉強や面接の練習に励んで、自分の希望する進路を勝ち取りました。

1・2年生は普段生活するフロアが3年生とは異なるので、先輩が努力している様子をあまり見ていないかもしれません。しかし、2月には「3年生の話を聞く会」もあります。3年生の成功体験を読む機会もあるでしょう。（右の就職内定者インタビューにもあります）先輩の良いところをしっかり見習ってほしいなと思います。人より早く始めれば、それだけ先に進むことができます。進路実現にはフライングもオフサイドもありません。やったもん勝ちです。

就職内定者インタビュー



普通科3年
菅野　鈴さん
㈱東館（二本松市）

機械科3年
髙木嘉杜さん
福島製鋼㈱（福島市）

この会社を選んだ理由は？
菅野　人と関わる事が好きで元々サービス業に就きたいと思っていました。本校出身の先輩方も多く、その先輩方の話を聞き自分に合っていると思い選びました。
髙木　ものづくりが好きで高校で身に付けた技術や資格が生かせる仕事をしたいと思っていたからです。

就職試験に向けて頑張ったことは？
菅野　特に面接練習を頑張りました。すぐに受け答えをするという事が苦手だったので、たくさんの先生方にお願いして協力していただきました。
髙木　面接練習と一般常識の勉強をひたすら頑張りました。

先生方から、どんなアドバイスをもらいましたか？
菅野　面接ではとにかく落ち着いて、聞かれたことに集中し、話し方もゆっくりめに話した方が良いとたくさんの先生方にアドバイスをいただきました。
髙木　面接では大きな声で元気に話すこと！

どんな社会人になりたいですか？
菅野　精神的にも経済的にも自立した社会人になりたいです。
髙木　責任をもって行動し、周りに気配りができる社会人になりたいです。

将来の夢は？
菅野　自分の考えや思いを誰にでもはっきり伝えられるようになる事です。そしてたくさんの方に喜んでいただけるサービスを提供したいと思います。
髙木　人に教えることができ、周りの人から頼られるような人になることです。